

魅力を耕す

高山市では地域の特性を生かした農業生産が盛んです。広報たかやまでは、私たちの暮らしの重要な役割を担っている農業について、特色ある農作物の生産や特徴的な取り組みなどをシリーズでご紹介しています。



甘みと香りが自慢の「しおやもも」

「しおやもも」の栽培を通じた地域活性化への取り組み

⑫高山地域

「しおやもも」は今から約30年前、塩屋町の栽培農家が従来品種の「はしもともも」をベースに開発した独自の品種です。甘みの乗った赤身のスモモとして、朝市などを中心に出荷されてきました。

このスモモ、味はもちろんのこと物珍しさも相まって、口コミによりファンは広がり、とりわけ有名なエピソードに歌舞伎役者の市川猿之助さんが、「芸の道に通ずる『幻のしおやもも』と絶賛されたほど、知る人ぞ知る人気のスモモです。

ところが近年、栽培農家の高齢化や人手不足など、生産の継続が危ぶまれていたため、平成17年に地元の中山間組合が中心となって「しおやもも同好会」を設立しました。同好会は、国の中山間直接支払制度も活用しながら、苗木の育成や耕作放棄地の復

旧を行い、栽培面積の拡大を図りつつ、安全・安心な産品づくりを心がけて、低農薬での栽培にも取り組んでいます。

冬期には、塩屋町水士里会や子ども会、消防団など地域ぐるみでももの木にイルミネーションを取り付け、地域のシンボルとして行き交う人の目を和ませています。

最近では「しおやもも」の生食期間の短さを克服しようと、ジャムなどの加工品も研究しているほか、先月には加工品第一弾として、「まぼろしのしおやもも酒」を販売するに至りました。

今後も新たな取り組みも行いながら、地域ブランド品としての確立と地域づくり、活性化を図っていきます。



酸味と甘みが絶妙の「しおやもも酒」



収穫を楽しむ地元子どもたち

問合せ先

農務課
☎353141

奇跡の桜、夜空を彩る 荘川桜ライトアップ

ダム建設により湖面に沈む運命にあった老桜2本は、桜を思う人々の力によって今の地に移されました。水没したふるさつを見守りながら、美しい桜花を咲かせています。その荘川桜は満開を迎えてから3日間、日没から午後9時まで特別にライトアップをします。夜空に照らされる奇跡の桜をご覧ください。

- 例年4月下旬から開花し、ゴールデンウィーク中に満開を迎えます
- 場所 荘川町中野(荘川桜公園)

問合せ先

荘川観光協会

☎05769-2-2272

